

第4学年 国語科学習指導案

令和4年6月30日(木)

5校時 4年2組 五十嵐 瑠美佳

3組 原 豊

1. 単元名「ぞうの重さを量る」

2. 単元の目標

知識・技能	・主語と述語との関係、修飾と被修飾の関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。知技(1)カ ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア
思考力・判断力・表現力	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に、捉えている。思判表Cア
学びに向かう力・人間性	・粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、考える筋道をつかもうとしている。

3. 指導計画

時間	○ねらい □めあて	学習活動
1	○叙述をもとに説明文の構成を考えて、話し合う。  バラバラになった説明文を、文章中の言葉をもとにならびかえよう。	○大きいものの重さをどのようにして量っているのか、想像して話し合う。 ○本時のめあてを立てる。 ○段落ごとにバラバラになった文章を、叙述をもとに並び替える。 ○考える筋道の札を並び替える。 ○学習のまとめをする。 ○学習感想を発表する。  ＜ステップアップチャート＞
2	○この文章で取り上げている問題をつかみ、曹沖が象の重さを量った考えの筋道をつかむ。  問題と、曹沖がぞうの重さを量った手順をとらえよう。	○①～③を読んで、問題をつかむ。 ○曹沖が象の重さを量った手順を確認する。 ○曹沖が行った手順の一つ一つについて、なぜ、そのようにしたのかを話し合う。 ○曹沖が、象の重さを量るという問題に出会ってから解決するまでの考えの筋道を想像して話し合う。 ○ノートなどに、曹沖がとった解決方法について考えたことを書く。

#### 4. 目指す児童像

- ① 自分の考えをもち、叙述を基に説明しようとしている児童
- ② 話し合いを通して、考える筋道を捉えようとしている児童

今回の思考ツールが有効だったと思う点

今回の思考ツールに関する課題・疑問点

5. 本時の指導（1／2）

（1） 目標：叙述をもとに説明文の構成を考えて、話し合う。

（2） 展開

	学習内容	・指導上の留意点
導入 (8分)	<p>1. 大きいものの重さをどのようにして量っているのか、想像して話し合う。</p> <p>2. 本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>バラバラになった説明文を、文章中の言葉をもとにならびかえよう。</p> </div>	<p>・指導上の留意点</p> <p>・日常の中で目にする大きく重いものを例に挙げ、どのようにして重さを量っているのかを想像させて話し合わせる。(例)トラック、バス、船、ゾウ、サイなど</p> <p>・一人ひとりに段落ごとにバラバラになった文章を配り、全体の内容を把握するために全体読みを行う。</p>
展開 (32分)	<p>3. 段落ごとにバラバラになった文章を、叙述をもとに並び替える。</p> <p>○個人で考える。</p> <p>○グループで話し合う。</p> <p>○正しい順番を全体で確認する。</p> <p>4. 考える筋道の札を並び替える。</p> <p>○グループで話し合う。</p> <p>○全体で話し合う。</p>	<p>・順番を理解するためには、ステップアップチャートを活用するとよいことを児童と確認する。</p> <p>・ステップアップチャートがかかれたワークシートを用意し、実際に操作しながら順番を考えられるようにする。</p> <p style="text-align: center;">＜ステップアップチャート＞</p> <p>・考えの筋道が書かれた札をバラバラに提示し、どれがどの段落に当てはまるかを考えさせる。</p> <p>①問題に出会う。 ②問題をつかむ。</p> <p>③解決のむずかしさを知る。</p> <p>④解決に取り組む。</p> <p>⑤手順1 ⑥手順2 ⑦手順3</p>
まとめ (5分)	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>6. 学習感想を発表する。</p>	<p>・説明文を読むときには、考えの筋道や接続詞などを捉えることが大事だということをおさえる。</p>

